

再評価結果(平成16年度事業継続箇所)

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道329号 宜野座改良		事業区分	一般国道	事業主体	沖縄総合事務局
起終点	自：沖縄県宜野座村字宜野座 至：沖縄県宜野座村字漢那		延長	2.7km		
事業概要 一般国道329号は、名護市を起点とし本島東側を南下し那覇市に至る延長約76kmの主要幹線道路である。宜野座改良区間の宜野座村字宜野座から字漢那にかけては、急カーブや急勾配等の線形不良箇所が複数あり、交通事故の恐れが非常に高い場所となっている。また、沿道は住宅、商店、公共施設などが密集しており、交差点や車両乗入口も多く、幹線道路としての機能が低下している。宜野座改良は交通安全の確保、地域交流の促進、幹線道路としての機能向上に大きく寄与する道路である。						
H2年度事業化		都市計画決定 不要		H11年度用地着手		H14年度工事着手
全体事業費	約55億円		事業進捗率	58%	供用済延長	0.0km
計画交通量	8,600台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 33/66億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 100/100億円		基準年 平成15年度
	(残事業) 1.5 3.0	(事業費 : 21/ 54億円) (維持管理費 : 12/ 12億円)		(走行時間短縮便益 : 96/ 96億円) (走行費用減少便益 : 2/ 2億円) (交通事故減少便益 : 2/ 2億円)		
事業の効果等 円滑なモビリティの確保(当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する) その他(現道線形不良箇所) 他3項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見 宜野座改良の整備により、交通安全の確保、地域交流の促進、幹線道路としての機能向上が期待されており、地元宜野座村から早期整備の要望(平成6年4月)を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 国道329号現道部について事故件数が多く、一層の整備促進が求められている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 全体事業費での進捗率が58%・用地買収の進捗率は65%である。 今後は、橋梁工事(2橋)改良工事(2.5km)について事業進捗を図る。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 事業区間内において埋蔵文化財が複数発見され、発掘調査を宜野座村教育委員会に依頼しているところであるが、学芸員等の人員不足の問題もあり、発掘調査が遅れている状況である。平成16年度は、引き続き発掘調査を行い調査完了箇所から施工を行い事業進捗を図る予定である。						
施設の構造や工法の変更等 橋台基礎形式を杭基礎形式から直接基礎形式へ変更、防食、防せい法を塗装から溶射へ、上部工形式を鋼単純合成箱桁から鋼単純少数鉄桁へ変更すること等でコスト縮減を図る。						
対応方針 事業継続						
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図						

